

財団法人エイズ予防財団主催

個別施策層（とくに性風俗に係る人々・移住労働者）のHIV感染予防対策と

その介入効果の評価に関する研究（研究代表者 東優子）研究成果発表会「セックスワーカーのいるまち 2009」

## セックスワーカーのいるまち「誰もが世界を変えられる！」

2010年2月9日（火）18:30-OPEN 19:30-START

@ロフトプラスワン・入場無料

今日も働くセックスワーカーとその客の「性の健康」について  
調査・シンポジウム・展覧会等を展開してきた「セックスワーカーのいるまち」プロジェクト。  
今回は、セックスワークをめぐるこれまでの活動の成果と困難さを改めて確認し  
今後の課題と作戦を探ります。

### ♥ セックスワークとHIV/AIDS（東 優子） 19:40～

現在、MSM・静注薬物使用者（IDU）・セックスワークに係る人々（SW およびその顧客）は、世界（サハラ以南アフリカ諸国を除く）でHIV感染の最も高いリスクに曝されている人々とされています。日本でも、セックスワークに係る人々はエイズ対策における「個別施策層」として、「人権に配慮した特別な施策を要する人々」とされています。彼らに共通する問題として、「禁止政策」が有効なHIVサービス（ケアや治療を含む）を提供する上での障害要因となり、結果として彼らの脆弱性を高めていることが指摘されています。諸外国で有効性が注目されている「ハーム・リダクション」政策と実践例を紹介し、本日の議論の導入とします。

### ♥ 調査から見えるSEX★WORK★HIV★LIFE（SWASH ほか） 19:55～

各種調査研究のレビューと報告を通じて、SEXと仕事とHIVに関する現状を浮き彫りにします。

報告は：

- (1) 国内外の性行動調査に関するレビュー
- (2) 研究班「女子の金銭の授受を伴う性行動調査」
- (3) 「風俗嬢意識調査 126人の職業意識」とその後
- (4) 「外国人セックスワーカー調査」などを予定しています。（内容・順序に変更あり）

### ♥ 風俗嬢が安全に働ける未来はあるのか：マイクロ・メゾ・マクロレベルの論点整理（登壇者多数） 20:25

諸外国で「セックスワークとHIV/AIDS」をめぐる有効な介入手法とされるのは、ピア・エデュケーションと100%コンドーム使用政策の2つに大別されますが、日本ではどうなのでしょう。職業やバックグラウンドの異なる登壇者（風俗嬢、元店長、研究者など）がそれぞれの立場で「風俗嬢が安全に働ける未来予想図」を語り、そこで浮き彫りになるマイクロ・メゾ・マクロレベルの問題点の整理を試みます。フロアからの発言も歓迎！

### ♥ 誰もが世界を変えられる！（松沢呉一×張由紀夫） 21:10～

ポット出版より新刊『クズが世界を豊かにするーYouTubeから見るインターネット論』を上梓したばかりの松沢呉一氏と、新宿二丁目でユニークな活動を展開する張由紀夫氏（Rainbow Ring）が、YouTubeにアップされている世界のコンドームCMなどを例に、メディアの役割、情報の伝わり方など「YouTube、インターネットが何を変えたか」を語ります。

♥ 終了予定 22:00

♥ 総合司会 ブブ・ド・ラ・マドレーヌ

♥ アクセス ロフトプラスワン 新宿区歌舞伎町1-14-7 林ビル B2（新宿駅東口）

TEL 03-3205-6864 <http://www.loft-prj.co.jp/PLUSONE/access.html>